

南無ちゃんのブログ 2022年6月

目次

| | | |
|-------|--------------------------------|----|
| 6月1日 | 防除④・蔓切り・副梢摘心..... | 2 |
| 6月2日 | スピードスプレーヤーのノズルを改善..... | 3 |
| 6月3日 | 防除④・モバイルバッテリー大活躍..... | 4 |
| 6月4日 | SSが通り易くするためにブドウ棚を改良..... | 5 |
| 6月5日 | 安芸クイーンのジベ処理..... | 7 |
| 6月6日 | 雨にも負けず..... | 8 |
| 6月7日 | ピオーネのジベ処理1巡目..... | 8 |
| 6月8日 | モモの摘果・核割れ果の見分け方..... | 9 |
| 6月9日 | イチジクとデラウェアとゴールデンキウイのお世話..... | 10 |
| 6月10日 | シャインマスカットの1回目ジベ処理1巡目・池の修理..... | 12 |
| 6月11日 | モモの袋掛けと草刈り..... | 14 |
| 6月12日 | 安芸クイーン2回目とピオーネ1回ジベ処理2巡目..... | 15 |
| 6月13日 | 防蛾灯の設置と猿対策用電柵の準備..... | 16 |
| 6月14日 | やっと梅雨入りだそうです..... | 17 |
| 6月15日 | 雨にも負けず(その2)..... | 19 |
| 6月16日 | シャインマスカットの1回目ジベ処理2巡目他..... | 19 |
| 6月17日 | アナグマからトウモロコシを守る柵..... | 21 |
| 6月18日 | 祝九頭竜川鮎解禁..... | 23 |
| 6月19日 | 祭りの後..... | 24 |
| 6月20日 | ピオーネの摘果・シャインの2回目ジベ処理1巡目..... | 25 |
| 6月21日 | 雨にも負けず(その3)..... | 26 |
| 6月22日 | 防除⑤..... | 27 |
| 6月23日 | 山椒の実を収穫..... | 28 |
| 6月24日 | 風にも負けず..... | 28 |
| 6月25日 | シャインマスカットの摘粒を開始..... | 30 |
| 6月26日 | 雨蛙が高電圧でショック死..... | 31 |
| 6月27日 | トウモロコシとサツマイモと白瓜の世話..... | 32 |
| 6月28日 | 防除⑥..... | 34 |
| 6月29日 | 池の修理・リベンジ編..... | 35 |
| 6月30日 | ポータブル焼却器の製作..... | 38 |

6月1日 防除④・蔓切り・副梢摘心

朝一番には、もうじき開花しそうな安芸クイーンの防除をしました。リドミルゴールド MZ 1000 倍 + カンタス DF 1500 倍 + スタークル顆粒 2000 倍の薬液をとりあえず 400 リットル調整しました。全体では約 600 リットル必要ですが、200 リットル追加で薬液を作るために農薬が少し足りないことに気付きました。明日にでも農協で農薬を買って、明後日、残りの棚に散布しようと思います。



防除作業後に少し休憩してから、蔓切りと副梢の摘心および花穂整形の仕上げをしました。ブドウの蔓は成長が早く、放置しておくとうんねルメッシュや他の新梢に絡まったりして面倒なことになるので、この時期に一斉に切除しています。ついでに、副梢が伸びていれば摘心して、花穂を 3 ~ 3.5cm に切り揃えます。この作業も結構手間がかかり、1 列あたり 1 時間 30 分くらいを要します。なので、昨日から妻に作業を手伝って貰っています。

写真は、蔓切り前と蔓切り後の状態を示しています。蔓切りして副梢を摘心すると、ブドウ棚がすっきりします。

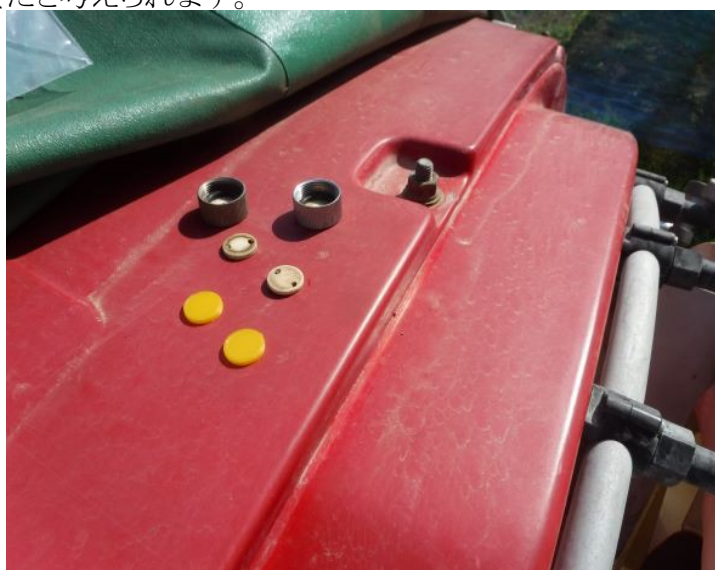




6月2日 スピードスプレーヤーのノズルを改善

先日スピードスプレーヤー(SS)の試運転をしていた時、噴霧するノズルの方向について「無駄なんじゃないの？」と疑問に思いました。SSはブドウやモモなどの果樹だけではなく、野菜などにも使用できるように設計されている筈です。ブドウの防除の時に、真横や真上に薬液が噴霧されるのは無駄なんじゃないかと思うのです。

ノズルの取り付け方向を変えるという方法がありますが、真横や真上を向いたノズルは塞いでしまうという方法もあります。後者の方法を試してみることにしました。ノズルを塞ぐために、ノズル内部に設置されたセラミック製の部品(写真で白の部品)のダミーの部品(写真で黄色の部品)を3Dプリンタで作りました。材質は3Dプリンタ用のPLAですが、わざと目詰まりさせて薬液を流さないで耐摩耗性は不要だと考えられます。



今日は、部品を製作して交換したのみです。明日の防除作業で効果の程を試してみたいと思います。

6月3日 防除④・モバイルバッテリー大活躍

今朝は6時過ぎに起床して、安芸クイーン以外のブドウ棚に防除④を実施しました。昨日、SSのノズルの一部を塞いだので効率良く散布できたように思います。ブドウも成長するので、次回の散布では真上のノズルからも散布できるように、ノズルを交換する予定です。



150リットルの薬液を追加で調整して、少し余る位でした。薬液を追加する時には、ブドウ園に設置している水タンク(500リットル)からSSに水中ポンプを使って水汲みしました。また、防除作業終了後に、SSを清掃する際には、ケルヒャーの高圧洗浄機を使用しました。水中ポンプや高圧洗浄機はAC100Vで動作する器具ですが、モバイルバッテリーで動作させました。夕方には、SSを給水車のようにして家の水タンクに溜めた水をブドウ園のタンクに運びました。この時にも、SSからタンクに水を汲み上げるには水中ポンプを使用し、電源はモバイルバッテリーから供給しました。このように、モバイルバッテリーが大活躍の一日でした。





6月4日 SSが通り易くするためにブドウ棚を改良

これからの時期、ブドウの新梢が伸びてくると、防除作業の邪魔になります。特にスピードスプレーヤー(SS)を使う場合などには特別な配慮が必要です。これまでの数年間は、SSの通り道だけは、左右に伸びたブドウの新梢同士をテープナーでバインドするなどして、垂れ下がらないようにしていましたが。防除作業のたびに、この作業が必要なため、面倒だと感じていました。

そこで、ブドウ棚のトンネルメッシュの中間にロープを張って、新梢を支えることを思い付きました。今朝、試しに1本だけ、ロープを張ってみました。



このために、直径4.5mm、長さ200mのロープ(漁業用?)を3巻購入しました。1巻あたり税込みで4000円位と安価です。しかし、リールやスプールがないので、解く時に注意しなければ纏れてしまいます。昨日、試しに1巻解いてみましたが、案の定トラブルになりました。



そこで、身近な材料でちゃっちゃとスプールを作ってみました。材料は、使い古した草刈り用チップソー2枚と角材およびビニールパイプ VP16 です。写真のように、ロープ1巻とチップソーの直径がほぼイコールです。



これを使ってロープを紐解くと・・・ノートラブル・・・ノープロブレムでした。所謂「急がば回れ」ってヤツですね。



6月5日 安芸クイーンのジベ処理

安芸クイーンの満開日は6月2日頃であっただろうと思われます。ジベ処理は、満開日から満開3日後までの期間に行うのが良いとされているので、是非今朝行いたかったのです。ジベ処理前後に乾燥した状態が続くことは好ましくないとされているので、SSで水を撒くことにして、昨日からSSに水を溜めて準備していました。

今朝は5時半頃起床して、先ず、SSで農薬散布時よりも速度を遅く(散布量を多く)して水を撒きました。その後から、GA(ジベレリン)25ppmの処理液に花穂を浸漬させました。



今日は、午前8時から町内会の草刈りがあり、12時頃に解散となりました。草刈り機の燃料タンク2杯分も草刈りをして、へとへとになりました。午後から小雨がパラパラし始めましたが、ブドウ棚のビニールの下だと大丈夫なので、シャインマスカットの花穂整形と副梢の摘心・蔓切りをしました。

6月6日 雨にも負けず

昨夕からまとまった雨が降ったので一安心です。吉備中央のアメダスによれば、降り始めからの雨量は63.5mmでした。今朝も雨が残っていましたが、ブドウ園に出かけて野良仕事をしました。こういう日もあろうかと思って、モンベルのレインウェアを購入していたのです。おニューを下ろしました。



スキーを楽しむためには板や靴は無論、スキーウェアが必須のアイテムです。そういう観点で、雨の日に野良仕事をするにはレインウェアは必須です。お陰で快適に作業できました。

6月7日 ピオーネのジベ処理1巡目

今日はピオーネのジベ処理をしました。ピオーネの場合、花冠が残って果粒に付着し易く、放置すると収穫した時でも付着したままになっていることがあるので、花冠が自然に取れるように「トルキヤップ」という剤をジベ処理の薬液(GA25ppm+F10ppm)に500倍に希釈して混ぜたものを使用します。ニッキの香りがして芳ばしいのが特徴です。



昨年は1巡目で7~8割方の花穂をジベ処理できましたが、今年は花の時期が不揃いで、1巡目で処理できたのは5割位でした。2巡目は6月9日または10日を予定しています。

6月8日 モモの摘果・核割れ果の見分け方

今日はモモ(白鳳とおかやま夢白桃)の袋掛け前の最終摘果をしました。そろそろ袋掛けの時期ですが、未だ袋さえ準備できていません。しかし、袋を掛ける掛けないに係わらず、最終摘果だけはこの時期に行う必要があります。白鳳などは、袋掛けしなくても良いという説もあります。確かに、私の経験でも袋を掛けるのを忘れたモモが立派に成長しているのを見たことがあります。袋が無い分赤い色が着きますが、売り物ではないので問題ありません。

モモの最終摘果の際には、左右のバランスが4:6程度に偏った果実を残すということが重要です。昨年は、このことを知りながら、見分け方が良く分からなかったので、いい加減な最終摘果をしてしまい、収穫できたのは袋掛けしたものの半分位でした。そこで、昨晩は、**Youtube**でモモの摘果の仕方・・・双胚果の見分け方などを勉強しました。今日は、実際にモモの果実をナイフで割って、どのような形のものが双胚果なのか、核割れ果はどのような形のものなのかを現地で確認しました。

次の写真の果実が双胚果です。左右対称の形の良い果実ですが、胚が2つ入っていることが多く、核割れの原因になります



次の写真の果実が正常果です。左右非対称で、形は悪そうに見えますが、胚は一つだけです。



今日は、何個もナイフで切り裂いて、形と胚の数(1か2か)を確かめました。その結果、大きくて丸い果や整った形のモノは双胚果である可能性が高いということを体で感じ取りました。昨年は、丸々と太ったものを大事に残してしまったのが失敗だったようなので、今年は大きめの果実は摘果してしまいました。結局、やや扁平で見た目が悪いものを残す果実を残しました。さて・・・結果や如何に？！

6月9日 イチジクとデラウェアとゴールデンキウイのお世話

今朝一番の仕事は、ブドウ園北側道路沿いの草刈りでした。その後、安芸クイーンの棚下をナイロンコードカッターで草刈しました。

午後一番は、イチジクのお世話です。昨年、カミキリムシの被害が著しかった成木を2本伐り倒したので、今年は代わりの若木を育成する予定です。一応、幼木は昨年から育てているので、今年で2年目です。イチジク栽培で重要なのは、樹形です。一文字の樹形にするために、新梢を誘引しました。



3 時頃から、シャインマスカットの棚下をナイロンコードカッターで草刈しました。前回の草刈りから2週間目位なので、草丈が短く、ナイロンコードカッターでも高速に草刈りが出来ました。チップソーよりもハイペースで草刈できたような気がします。

夕方4時頃から、デラウェアの2回目ジベ処理をしました。500mlのPETボトルにジベレリン50mgを一袋入れて、100ppmのGA液を作り、大きくなった花穂を浸漬処理しました。妻が、昨日と今日でデラウェアの初回粒間引きをしてくれていました。



ゴールデンキウイは、冷凍保存していた花粉による人工受粉が上手く行って、何とか実を留めることができました。最近、スーパーなどでニュージーランド産の大きな「ゴールドキウイ」を見かけることがあります。どうせ作るのなら、ああいう大きな果実を作りたいのです。そこで、夕方5時過ぎから、ゴールデンキウイに植物成長ホルモンであるフルメット液(3ppm=330mlの水に1mlのフルメット液)に浸漬処理しました。ブドウに用いるフルメットの取扱説明書を見ると、ブドウの他、スイカやカボチャ・・・キウイフルーツの果実肥大に効果があるようです。キウイフルーツの果実をフルメットに浸漬するのは初めてですが、面白半分にやってみました。5月18日が満開日だとすると、今

日で22日目なので、丁度適期です。ヘイワード種は、10日位満開日が遅れていたなので、フルメット液への浸漬処理も6月20日前後にやってみたいと思います。



6月10日 シャインマスカットの1回目ジベ処理1巡目・池の修理

今日の朝一番の仕事はシャインマスカットの1回目ジベ処理です。テキストでは、ジベ処理の適期は「満開日～3日後」とありますが、フルメットの取扱説明書には「開花始～満開前又は満開時～満開3日後」とあり、特に害はなさそうなので、7割程度咲いている花穂は満開とみなして浸漬処理しました。こういう風に判断したせいか、約8割方の花穂をジベ処理することができました。

2巡目の処理予定は4日後の6月14日です。



池の水漏れを対策するなら梅雨前の今でしょ！ということで、昨日池に行って樋を抜いていたところ、ほぼ干上がった状態になっていました。急遽、ホームセンターに行って「インスタントセメント」という商品名のセメントと砂が混ぜ合わせてあるもの(20kg入り)を5袋購入してきました。樋から漏

水する対策として、池の底の泥に混ぜ合わせるなどというのは初めての体験なので、どの程度の資材が必要なのか検討がつかなかったため、とりあえず5袋(100kg)としました。

更に水を抜くために、干上がった池の底に仕切るために土手を築いて、水中ポンプを使って樋のある方から別の方に水を移しました。池の底を仕切るための土手は、以前工事をした時に作っていたので、それを補強する程度で簡単に済みました。水中ポンプは38mm(1-1/2インチ)なので、直ぐに水を汲みだすことができました。



一番底の樋が頭が見えたので、この樋を抜いて、バケツを使って更に水を汲みだしました。当然ながら、じわじわと水が周囲から湧き出てきますが、できるだけ水を汲みだしてから、インスタントセメントを投入しました。下の写真は、粉状のインスタントセメントを投入した直後のもので、これではダメだろうと思って鍬で練り合わせました。一番底の樋はインスタントセメントで埋めてしまいました。



インスタントセメントを次々に投入し、鍬で混ぜて、土管の周りに撫で付けました。



作業に当たっては、溪流釣りに行っていた頃の胴長を使いました。作業は、運搬および撤収を含めて3時間程でした。この程度の作業で、池の漏水が止まれば目出度し目出度しですが、どういう結果になるのでしょうか???

一応、ベストを尽くしたつもりです。これでもダメなら、投入するインスタントセメントまたはドライ生コンの量を10袋(200kg)程度に増やしてリベンジすることも念頭に置いていますが、できれば改善してくれていることを願うばかりです。

6月11日 モモの袋掛けと草刈り

昨日、ホームセンターにインスタントセメントを買いに行ったついでに、モモの掛け袋300枚を購入してきました。シーズンも終盤ということなのか、モモの掛け袋の在庫は300枚だったので、これで間に合せることにしました。去年の残りが25枚あったので、合計325枚です。これを、白鳳に162枚、おかやま夢白桃に163枚割り当てました。

袋が掛かっていない果実がいくつか残っていますが、後日、摘果するつもりです。袋を掛けないとどの程度品質が劣化するのかという実験のために袋掛けしない果実も少し残したいと思います。



午後からナイロンカッターで草刈をしました。前回の草刈りは5月18日だったので、3週間以上前です。今、きれいに草刈りしておけば、今後の摘粒や枝管理、袋掛けなどの作業が楽になります。今年初めて、ナイロンコードカッターできれいに草刈りしています。所謂、清園栽培というやつでしょうか・・・？ こうしておく、ぬかるんだような日は別として、運動靴でも作業できるので、長靴よりも涼しくて快適です。全く草むらがないので、蛇がいるんじゃないかという心配は無用なので安心して作業できます。



6月12日 安芸クイーン2回目とピオーネ1回ジベ処理2巡目

今日で安芸クイーンの満開日から10日目になるので、2回目ジベ処理をしました。既に果粒は小豆位の大きさになっています。少し大きめのカップに替えて浸漬処理をしました。



ピオーネのジベ処理は1回処理にしています。1巡目は6月7日でしたので、5日が経過しています。今日、満開になっていない花穂はカットしました。カットした花穂はおそらく20以下だったと思います。1巡目の時には、ジベ処理した新梢にテープナーで目印をしました。この作業は妻に手伝って貰いました。今日は、この目印を見ながら、処理済みの花穂はパスして、未処理のもの

を探してジベ処理しました。2巡目は一人で作業できましたし、1巡目よりも早く終わりました。



6月13日 防蛾灯の設置と猿対策用電柵の準備

朝一番に、シャインマスカットの1回目ジベ処理2巡目をしようかと思っていましたが、未だ開花していない花穂が多かったため、ピオーネの副梢の剪定をしました。

少し早めに昼飯にして、その後、FIMASAOでブドウ園の柵下以外の部分やブドウ園隣地の草刈りをしました。

その後、今週は猿の見回り当番なので、捕獲檻を見回ったところ1頭入っていたので、始末するのに1時間程かかりました。

先日から防蛾灯の準備をしていましたが、今日はソーラーパネルを運んで配線しました。夜蛾はモモの大敵なので、そろそろ夜間モモを照明して夜蛾が来ないようにします。昨年買ったLEDライトの一つが点灯しませんでした。LEDライトは長寿命だと思うのですが、なんだかなあ・・・って感じです。



ついでに、猿からブドウを守るための策(柵)である「おじろ用心棒」に高電圧を印加するための装置と、その装置に電源を供給するためのソーラーパネルおよびバッテリーを設置して配線しました。ソーラーパネルが電源なので、今日から運転することにしました。早めに運転しておけば、猿がやって来たとき電気ショックにびっくりして、「あそこは怖いから近づかないように・・・」と学習してくれることを期待できるんじゃないかと思います。



6月14日 やっと梅雨入りだそうです

未明から雨が降り始めて、今日は一日中小雨でした。ニュースによれば、今日、中国地方は梅雨入りしたそうです。平年よりも8日遅いそうです。昨年よりも1か月遅いようですが、昨年の梅雨入り宣言が早すぎたとも言えます。いずれにしても、これから梅雨前線が南北に移動して、それによって晴れだったり雨だったりの繰り返しになるんでしょうね。

我が家の庭先に、タチアオイの花が咲いています。この花がテッペンまで開花すると梅雨が明けると言われていますが、既に7割方の花が咲いています。梅雨明けは、いつ頃になるんでしょうか？



鮎釣り師匠のMさんから連絡がありました。今週末に九頭竜川の鮎釣りが解禁とのことですが、ブドウが忙しいので、鮎釣りの情報収集も準備も全くできていません。野良仕事を後3日頑張れば2日位は休んでも良さそうな気がします。今日も小雨の中、副梢の摘心作業を励みました。



今日は久しぶりに雨が降ったので、我が家の気象観測装置で収集したデータの表示プログラムを少し変更して、累計雨量と日照時間が一目で見られるようにしました。今朝から現在までの累計雨量は、13.7mmです。アメダス(吉備中央)の24時間雨量は、13.5mmなので小気味よく一致しています。今日の日照時間はゼロでした。

直近24時間の気象データ

気温グラフ

湿度グラフ

気圧グラフ

照度グラフ

| 最高気温 | 最低気温 | 日照時間 | 累計雨量 |
|---------------------|---------------------|-------|--------|
| 2022-06-14 12:45:01 | 2022-06-14 04:00:03 | 0.0hr | 13.7mm |
| 18.2℃ | 14.9℃ | | |

| 日付・時刻 | 温度 | 湿度 | 気圧 | 照度 | 風向 | 風速 | 雨量 |
|---------------------|------|-------|--------|-------|------|-----|-----|
| 2022-06-14 19:15:02 | 15.4 | 100.0 | 1010.2 | 12.9 | -1.0 | 0.2 | 0.0 |
| 2022-06-14 19:00:02 | 15.6 | 100.0 | 1010.3 | 104.6 | -1.0 | 0.3 | 0.4 |
| 2022-06-14 18:45:02 | 15.6 | 99.4 | 1010.5 | 271.4 | -1.0 | 0.1 | 0.0 |
| 2022-06-14 18:30:02 | 16.1 | 97.7 | 1010.7 | 339.1 | -1.0 | 0.2 | 0.4 |
| 2022-06-14 18:15:02 | 15.8 | 98.6 | 1010.7 | 243.7 | -1.0 | 0.2 | 0.4 |
| 2022-06-14 18:00:02 | 16.3 | 96.5 | 1010.6 | 306.5 | -1.0 | 0.1 | 0.4 |

6月15日 雨にも負けず(その2)

今日も小雨が降る中、簡易被覆栽培のブドウ棚の下で作業をしました。朝見た天気予報では、午前9時ごろまでには雨が上がるとの予報だったので、雨が上がったならシャインマスカットのジベ処理をしようと予定していました。それまで、様子を見ながらピオーネの副梢を摘心することになりました。しかし、小雨ながらもずっと降り続いてしまい、雨が上がったのは午後4時頃でした。それから、ジベ処理をしようかと思いましたが、また降りだすと困るので明日に持ち越すことにしました。結局、一日中、小雨の中、鋏を持って副梢の摘心作業をしました。

6月6日のブログに書いているように、モンベルのレインウェア(上下)を着ていると蒸れたりせず、比較的快適でした。しかし、上を向いての作業ですし、ブドウの枝の一部は雨滴がついているので、素手だと手首のあたりから浸水して、シャツの袖口が濡れてしまいます。そこで、着用する手袋を色々替えて何が適しているのか実験しました。その結果・・・薄いゴム手袋がベストだということになりました。適度に長いので、レインウェアの袖口まで覆うことができ、浸水を防ぐことができました。



本当は晴耕雨読としたいところですが、今週末は遊びに行きたいので、必死になって頑張りました。目的があれば頑張れるものですね。

6月16日 シャインマスカットの1回目ジベ処理2巡目他

今日は天気が回復しそうな天気予報だったので、朝一番からシャインマスカットの1回目ジベ処理の2巡目をしました。1巡目の時には未だ満開に至っておらず見送りにした花穂が対象です。1巡目の作業は6月10日だったので、雨が降ったとは言え6日も経過したためか、流石に大多数の2巡目対象の花穂は満開を過ぎていました。それでも片手程の花穂は満開に至っておらず、それらはカットしました。

1巡目と2巡目で6日も間を開けてしまったので、2回目ジベ処理を同日に行うことは躊躇われ

ます。2回目ジベ処理も2回に分けてしようかなあ・・・ 1巡目にジベ処理をした新梢には、テープナーで印を付けているので、わかるのです。これが、花穂に車を残して目印にした場合、目印だけで1巡目だったのか2巡目だったのかを見分けるのは困難なので、テープナーで目印の方に分があります。

他のブドウのジベ処理は終わりましたので、シャインマスカットの2回目を残すだけになりました。

ジベ処理の後、昨日からやっているシャインマスカットの副梢摘心作業を引き続きやって完了しました。これにて、ブドウの作業も少し楽になったので、今週末に九頭竜川・永平寺温泉に旅に出かけても大丈夫そうです。雨にも負けず頑張った甲斐があったというものです。

ということで、午後からは九頭竜川に出かける準備を開始しました。仕掛けなんか全然作っていませんが、なんとかなるでしょう。一応、竿だけは伸ばして確認しました。



ハイエースで出かけるとなると、我が家から県道に出るまでの細い道の山際の木々の枝などが邪魔になりそうなので、これらを掃除しました。これも鮎釣りに行くためには必要なことなので仕方ありません。

これらの作業を終えても未だ一仕事できそうだったので、安芸クイーンの摘粒1巡目をしました。安芸クイーンは花が揃っていたので、ジベ処理も1巡目だけで終わりましたし、摘粒も不要な程に適度にばらけていてナイスです。問題は、今後、着色するか裂果しないかという点です。



6月17日 アナグマからトウモロコシを守る柵

ブドウ園の空き地にトウモロコシを24本程植えて育てています。今の処、順調に育っています。しかし、ブドウ園にはアナグマが毎日によく出没しています。箱罠を設置していますが、なかなか捕まえさせてくれません。ブドウ園や家の周りで何度も大きさや毛色の違うアナグマを目撃しているのです、おそらく最低でも3匹はいると思います。

トウモロコシは、雄花の花穂が出始めていて、そろそろ雌花が咲く時期です。そうになると、アナグ

マにやられる可能性大なので、先に対策をしました。トウモロコシの周囲をワイヤーメッシュで囲んで、更にワイヤーメッシュの下の方を網で覆いました。そのために、朝一番から篠竹(女子竹)を伐り出しました。ワイヤーメッシュを支える杭にするためです。



ワイヤーメッシュに網を留める際に、テープナーを使いました。用途外の利用方法だと思いますが、簡単にワンタッチで止めることができました。外す時もテープを切ればよいので簡単です。



もう少しして実が太ってきたら、今度はカラス対策をしなければなりません。なかなか山里で作物を作るというのは有害鳥獣対策だけでも大変です。(;'д`)トホホ

6月18日 祝九頭竜川鮎解禁

昨夕家を出発して、今朝6時頃には永平寺町飯島に到着しました。飯島には今年新規開業したオトリ屋さんがあるというので、年券はそのオトリ屋さんで買うことにして、直接オトリ屋さんの小屋の傍の駐車場にきました。

7時半頃には期待を込めて川に入りましたが、2時間やって釣果はマイナス1でした。周りの人もあまり釣れている様子はありません。天気は曇りだったので、鮎の活性もイマイチです。ダメだこりゃと思って鮎たびなどを全部脱ぎ捨てて、昼寝にしました。



気を取り直して、午後からトロ場で泳がせをしてみたところ、ポツポツ掛かりました。型は小さくて九頭竜川の鮎とは思えないサイズ(約15cm)でした。お世辞にもよく釣れたとは言えない釣果でしたが、解禁＝お祭りなので、宴会をしに来たのだと思えば、それはそれで楽しいひと時です。今年も九頭竜川で楽しい日々を過ごせそうです。



6月19日 祭りの後

昨日は解禁日だったので、言わば、お祭りです。なので、今日は、祭りの後となります。朝から晴れて良い天気なので、絶好の鮎を釣り日和なのですが、昨日あれだけ釣れなかったのが、人影はまばらです。朝7時に目覚めて、ゆっくり朝食を皆で作って食べたあと、9時頃から、いわばシェアナシで川に入りました。昨日の今日なので、釣れそうな予感は無しです。それでも昼までに4尾程掛かりました。サイズは18cm位で小振りでした。



昼間もずっと照り込んでいたので、お昼寝タイムにしました。風が少しあって、リアハッチとサイドドアを開けると涼しい風が入ってきます。1時間程寝ると疲れが取れました。2時過ぎからもう一度着替えして川に入りました。4時過ぎまで歩きまわりましたが、釣果は1尾のみでした。

釣れば、もう一日程居ようかと思っていましたが、間違えても釣れそうにないので、今日で切り上げて帰宅することにしました。夕食も皆と一緒にした後、午後7時頃に永平寺町を後にしました。

次回は7月20日頃にやってくるつもりです。その頃には釣れるようになって欲しいものです。

6月20日 ピオーネの摘果・シャインの2回目ジベ処理1巡目

今朝7時に我が家に到着しました。帰路の途中、2回に分けて仮眠をとっていたので、それほど疲れは感じていませんでした。道具を片づけて、洗濯してから、早速ブドウ園に出かけました。

ピオーネの摘粒の時期なので、摘粒作業を開始しました。しかし、11時頃まで作業すると腹は減るし、疲れがどっと出てきました。早めの昼食にして、1時間半程昼寝をしました。



2時頃から再びブドウ園にいて、シャインマスカットの2回目ジベ処理の1巡目をしました。1回目から今日で10日目です。ジベ処理を終えた後、再び、ピオーネの摘粒作業をしました。

6月21日 雨にも負けず(その3)

今日は一日中雨の天気予報でした。午前中の早い時間帯は曇りでしたが、予報通り、8時頃から降り始めました。お気に入りのレインウェアを着込んで、雨にも負けずのブドウ園でピオーネの摘果作業をしました。摘果作業は、ビニール被覆したトンネルメッシュの下で作業するので、殆ど濡れずに済みます。従って、ゴム手袋をしなくても、手や袖口が濡れることもなく、雨音を聞きながら黙々と作業しました。

午前10時から、ブドウ部会の管理講習会があったので、参加しました。講師の先生は全農岡山の有吉さんでした。丁度昨日からピオーネの摘果を始めたばかりでしたので、役に立ちました。毎年同じような話を聞くのですが、1年前の話は忘れてしまうのです。講師によって説明の仕方が違いますが、特に有吉さんの話は面白くてかつ為になります。摘果に関して、「早めに落とせば惜しくない。間引いた後には落とせない」と摘房の重要性を説いておられます。まず、やるべきことは①房数制限(摘房)、②軸長決定、③粒間引き(摘粒)とのことで、落とす房は①遅れ、②バラ房、③細い枝という優先順位だそうです。早速、帰ってから説明に従って摘果作業をしました。



6月22日 防除⑤

昨日見た天気予報では午前中は雨の予報だったので、ゆっくり遅寝したところ、目覚めると雨は降っていなかったため、急遽、防除作業をすることにしました。防除⑤は、本来ならもう少し早めに行なえばならないのですが、昨日は雨だったので延期していたのです。

サイフォンが使えないので、SS(スピードスプレーヤー)に溜めていた水とタンクに溜めていた水で賄いました。燃料を給油したり、水中ポンプで給水したりで少し手間取りました。

ペンコゼブ 1000倍、フルピカF 3000倍、コテツF 2000倍の薬液を400リットル調整して、SSで散布しました。全体の6割程の散布を終えた時点で、100リットルを追加して薬液を調整しました。合計500リットルで散布を完了しました。丁度良い位の量でした。



散布を終えた後、次回の防除作業のために、家の貯水槽からSSで400リットルの水をブドウ園

のタンクに運びました。家に帰る途中の上り坂でSSが動かなくなりました。クラッチの部分のVベルトがスリップしているようで、プーリーの位置を調整してベルトを張るとちゃんと動くようになりました。

午後からは、ピオーネの摘粒作業をしました。もう一日あれば、ピオーネの摘粒一巡目の作業は終わりそうです。

6月23日 山椒の実を収穫

今日もブドウ園でピオーネの摘粒作業をしました。午後になって、ようやく終了しました。

昼食後の休み時間に、山椒の実(実山椒)を収穫しました。早速、茄子の油いために山椒の実をスパイスとして少し加えたものが出てきました。このように、山椒の実は、少量でもスパイスとして独特の辛さと香りを楽しむことができます。冷凍しておけば、保存できるので重宝します。



6月24日 風にも負けず

昨夜早く就寝したためか、今朝は5時前に目覚めました。そうだ！今日は早朝にフラスター液剤を散布しよう！と急に思い立ちました。あまり遅くなって適期を逃してはいけません。ネットで天気予報を見ると・・・風が強い予報です。6時でも風速2m/s、昼間は4m/sの予報でした。明日も同じように風が強い予報だったので、日和見的に予定をずらすのは不味いので、思い切って少々風が強くても(風にも負けず)決行することにしました。幸い、うちのブドウ園の周囲には耕作地がなく、ドリフトによる悪影響を心配する必要はありません。

そうと決まったら、なるべく早朝の方が風が弱いので、パパッと準備して、朝飯も食わずにブドウ園に出かけました。フラスター液剤1000倍の薬液を200リットル調整して、動力噴霧器で散布しました。フラスター液剤は、遅伸びするピオーネの樹8本とシャインマスカット2本が対象です。薬の価格が高い(100mlで5000円強なので2本で1万円強とお高い)ため、遅伸びする樹だけにピ

ポイント的に散布したかったので、SSではなく動力噴霧器を使用しました。

実際にやり始めてみると、ブドウ棚の下では、それほど風が強くて困るという程ではありませんでした。決行して良かったと思いました。

メーカーのチラシにあるように、使用目的は「新梢伸長抑制」です。いつまでも新梢が伸びると枝管理が大変ですし、結局、栄養分を新梢の成長に浪費されて、果実の肥大不良や糖度の低下などにつながる可能性があります。それを現代の魔法である農薬で改善した〜い！という思いで、今回初めて試してみました。結果はどうなることやら・・・?!



フラスター液剤を散布した後、イチジクの枝に杖を付けました。昨日から風が強いなあと思っていましたが、明日も風が強いとの予報なので、やるなら今でしょう！イチジクにも、「風にも負けず」良い果実を着けて欲しいものです。



その後、ピオーネの副梢や巻蔓をカットする作業をしたり、シャインマスカットの2回目ジベ処理2巡目をしました。

6月25日 シャインマスカットの摘粒を開始

ピオーネの摘粒が終わったので、次はシャインマスカットです。摘粒(粒まびき)のついでに、副梢や副副梢も綺麗にかぎ取りました。今日一日で、約半分の作業を終えたので、明日も頑張れば全部終わることができるでしょう。



昨夜夕立がありましたが、極短時間だったので、降水量は約10mmでした。今年の梅雨はもうすぐ終わるという見方があるようですが、もう少し雨が降ってくれないと、水不足が心配です。

6月26日 雨蛙が高電圧でショック死

今朝も、いつものようにマメコガネを手作業で駆除していたところ、近くで「パチッ・パチッ・パチッ」という音が周期的に発生していることに気がきました。これは、猿がブドウ園に侵入することを防ぐために設置している高電圧発生装置から発生した高電圧が、どこかでリークしている時の音です。

放置しておく、故障の原因にもなり兼ねないので、音を手掛かりにリークしている場所を探したところ、雨蛙がよじ登ろうとしたときに高電気でショック死したようです。



見ていると、パチッと音がする時に、同時にピカッと光って稲妻のようなものが見えました。この高電圧発生装置には人間が触ってもびっくりする位のショックがありますので、カエルにはヒタマリもなかったのでしょうか。

今日もシャインマスカットの摘粒作業をしました。午後3時前には、ひとまずシャインマスカットの摘粒作業(1巡目)は終了しました。その後、池に行ってみたところ、やはり・・・サイフォンに注水する程水はありませんでした。困ったものです。次回の防除作業にもサイフォンの水は使えないと分かったので、家にある井戸水を溜めている水タンクからSSを使って、ブドウ園の水タンクに水を運びました。

天気予報を見ると、今年は梅雨時の雨は期待できないようです。今後1週間の天気予報では雨マークの日は無くて、降水確率はどの日も30%以下でした。雨が降らないのなら、池の修理をするということも可能です。そろそろブドウのお世話も手が空いてきたので、チャンスかもしれません。

6月27日 トウモロコシとサツマイモと白瓜の世話

ブドウの世話が一区切りついて、一服という状況です。今まであまり手が入れられなかった野菜類の世話をしました。

トウモロコシの雄花をそろそろ除去しようと思ってよく見てみると・・・なんと！アワノメイガの食入痕後らしいものを見つけました。嗚呼何と言うことでしょう！ネットで調べると、防除は雄花が咲き始めた頃とあります。もう手遅れかもしれませんが、諦めるのは悔しいので、ダメ元でトレポン乳剤を1000倍にした薬液を散布しました。全部の株に食入しているとは限らないので、無傷のものがいくらかはあるでしょう。



トウモロコシの実が入りだすと、アワノメイガが食い荒らすだけでなく、カラスがやってきて食べることがあります。カラス対策として、ネットを上から被せました。これで、アナグマとカラスの対策は万全です。ブドウ園の周囲に電柵(おじろ用心棒)を張り巡らせているので、サルにも対応しています。



トウモロコシに掛けたネットは、ウサギに葉を齧られないようにとサツマイモに被せていたものです。もうサツマイモは良いでしょう！ということで、トウモロコシの防衛に回ってもらいました。サツマイモをよく見ると、草ぼうぼうの中であって、お日様がまともに当たらないような状況だったので、草取りをしました。



白瓜の子蔓を摘心しようと思って観察していると、既に実がついているのを発見しました。もう1週間もしたら食べられるかもしれません。



6月28日 防除⑥

今朝は5時半に起床して、防除作業をしました。セイビアー F20 2000 倍、レーバス F 3000 倍、サムコル F10 5000 倍の薬液を 500 リットル調整しました。SS のタンク容量ギリギリですが、地面がぬかるんでいなかったの思い切って1回の調整で済むかどうかトライしてみました。目論見通り、殆ど薬液が残らず丁度良い位でした。



ピオーネの粒は丁度ビー玉位の大きさになっています。安芸クイーンはそれよりも一回り大きく、シャインマスカットは未だ小さな粒です。午後から昼寝をした後、安芸クイーンの仕上げ間引きをしました。



6月29日 池の修理・リベンジ編

6月10日のブログで紹介しているように、我が家のブドウ園の水源である溜池が水漏れしています。2年程前にも、同様のトラブルがあり、木栓を交換するなどしたら治ったような気がしていましたが、やはり木栓の樋以外のところから漏水しているようです。水量は、水道の蛇口を弱めに緩めた程度ですが、その量が池全体の流入量よりも多いと徐々に減水して干上がってしまうのです。

今年は例年になく異常に早い梅雨明けなので、水不足が心配されるところですが、溜池の水漏れ修理をするには好機到来です。Think positive!! ピンチの裏にはチャンスありですかね?!

6月10日にインスタントセメント(1袋20kg)を5袋投入しましたが、効果は見られませんでしたので、ドライ生コン(1袋20kg)を10袋購入して、修理のやり直しをしました。



今回は型枠のようなものを作って、生コンがだらだらと流出するのを食い止めました。ドライ生コンを混ぜるためにトロ箱も持って行きましたが、やはり水があるので型枠にドライ生コンを投入して混ぜるといのが手早くしかも簡単です。ドライ生コンを10袋用意したのは正解で、7袋投入した頃から型枠内で混ぜることができない位のレベルになりました。



どこから水漏れしているのか、原因が解明できてないので、こんなことをして解決できるのかどうかは全く自信がありません。

今度雨が降ったら、効果を評価したいと思います。効果があると良いなア(^ω^)…



<準備した材料類>

- ・ドライ生コン 20kg 10袋
- ・杭 長さ1m 2本
- ・コンパネ 正面用 700x400 1枚
- ・コンパネ 側面用 900x400 2枚
- ・角材 35角 400mm 2本
- ・角材 35角 100mm 2本
- ・板 幅100mm 長さ1200mm 1枚
- ・コンパネの端切れ 幅30mm 長さ900mm 1本
- ・コーススレッド 35mm 少々

<準備した道具類>

- ・モバイルバッテリー
- ・電気コード
- ・電動丸鋸(側板を現地で加工するため)
- ・水中ポンプ
- ・同用排水パイプ
- ・インパクトドライバー
- ・鍬(土手の土上げ用)
- ・鍬(ドライ生コン混練用)
- ・トロ箱(ドライ生コン混練用)
- ・バケツ
- ・電気コード
- ・ウェーダー(胴長=溪流釣り用)

- ・カケヤ(杭の打ち込み用)
- ・ピンクレディー(キャタピラー型農業運搬車)

今日は、梅雨明け宣言後に夏を体感する一日でした。我が家の気象観測装置の日照時間は、6.8時間を記録しました。空には雲一つない青空が広がっていました。

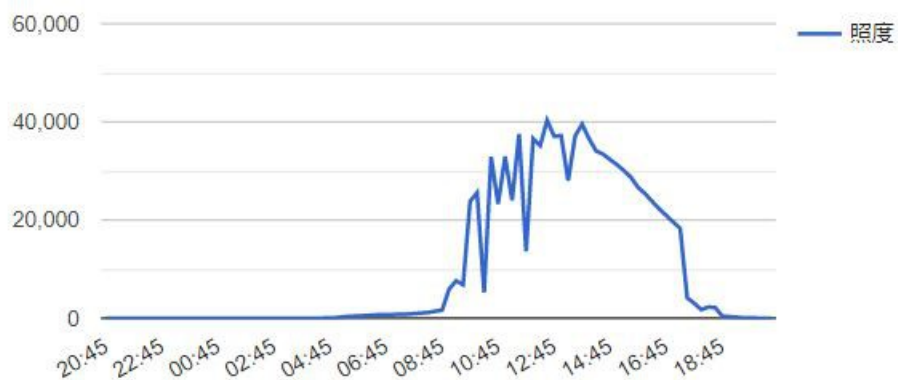
直近24時間の気象データ

気温グラフ

湿度グラフ

気圧グラフ

照度グラフ



| 最高気温 | 最低気温 | 日照時間 | 累計雨量 |
|---------------------|---------------------|-------|-------|
| 2022-06-29 15:15:02 | 2022-06-29 04:45:02 | 6.8hr | 0.0mm |
| 36.0℃ | 20.7℃ | | |

6月30日 ポータブル焼却器の製作

使用済みになった草刈り機用のチップソーの利用方法は何かないのか？・・・と思っていたところ、そうだ！焼却器のサナ(ロストル)にすればいい穴の部分から空気が入って良いかも！・・・と思い付きました。

今日、近所の自動車屋さんでハイエースのタイヤ交換をしてもらった際に、オイル缶を1つ分けて貰いましたので、それで早速作ってみました。穴あけには、エアプラズマカッターを使えば自由な大きさや形の穴を明けることができます。



当初は、サナの下と上に空気穴があれば良いかなと思って製作して、試運転をしたところ、上の方にも空気取り入れ用の穴があった方が良さそうと感じたので、焼却器が冷えるまで待ってから、もう一度中部から上部にかけて穴を明けて、再び試運転しました。



まあこんなもんかなあ的なレベルにはなったと思います。廃品で作ったので材料費はほぼゼロです。